



あぶくま福祉会

ひびき

令和2年 4月号

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 生活介護事業所 **だての郷**

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL024-576-7799 FAX024-576-7815

4月の主な行事

- 4月1日(水) 辞令交付式・理事長訓示
- 4日(土) 土曜利用日
- 15日(水) 報奨金支給
- 16日(木) ジュース購入日
- 22日(水) 誕生会

4月生まれの皆さん

お誕生日おめでとうございます

齋藤幸大さん(4月20日生まれ)
 谷津貴之さん(4月22日生まれ)
 大槻美里さん(4月28日生まれ)
 みなさん おめでとうございます。
 今月の誕生会は、22日(水)に予定しています。お楽しみに!

ごあいさつ

**新年度がスタートしました。社会福祉法人あぶくま福祉会
 吉田理事長、だての郷中木施設長、だての郷保護者会谷津
 会長から、新年度にあたってごあいさつ申し上げます。**



令和2年度開始にあたって



社会福祉法人あぶくま福祉会
 理事長 吉田修次郎

桜花爛漫な季節となりました。施設の敷地内にある桜の花も例年にも増して早く咲き誇り、だての郷利用の皆さんは、心軽やかな清々しい外での活動が楽しみな季節を迎えていることと思います。

しかし今、社会では新型コロナウイルス問題で、活動が中止になったり自粛になり、人も物も動かない状況が続き、店先にはマスクをはじめ衛生商品の品薄状態が続いております。だての郷の日中活動にもその影響が出ており、一日も早く終息し、普通の活動ができるよう願っています。

さて、新年度開始にあたり本年度の重点事業の概要をお知らせし、皆様のご理解を賜りたいと思います。

ご存知の通り、これまで法人が30年間コツコツと経費節減をしながら施設の大規模な改修に備え蓄えた資金が、法令の改正により、社会福祉充実金として使わなくてはならないお金として有しています。これは、平成29年度から5年間の事業でありますので、今年度は4年目ということになり、いよいよ本格的に事業を執行しなければなりません。

具体的には、施設の南側の土地を買収し造成工事を行います。今後はほどはら授産所のハウス移転と、駐車場の整備を行う予定であります。厳しい環境の中で作業しているほど

はら授産所の農耕園芸班の皆さんの作業環境を改善したいと思います。そして近い将来、現在のハウス移転の跡地は、だての郷の利用者の運動広場の整備、あぶくま祭等のイベント広場の整備にも充てたいと思っています。限りある財源を活かし、利用者の皆さんの生活空間が少しでも改善できるよう、努力したいと考えております。

昨年30周年を行いました。今年は法人にとって新たなスタートの年として、法人並びに施設運営をしてまいりたいと思っています。

社会福祉法人の使命である「地域に開かれた施設」として、地域貢献、公益事業の実施と共に「利用者のための施設」として努力をしてまいりたいと思っていますので、保護者の皆様には、ご理解ご支援を頂きますようお願い申し上げます、新年度スタートにあたってのご挨拶といたします。



新年度スタートにあたって

だての郷 施設長 中木 雅彦

新年度を迎えました。昨年度は、あぶくま福祉会創立30周年の記念の年で、式典・祝賀会の開催、記念事業の実施を行うことができました。これもひとえに、利用者の皆さん、保護者の皆さん、職員の皆さんの法人と施設への熱い思いの賜物であり、改めて皆様に御礼を申し上げます。

小職も着任以来1年9か月がたち、毎日、利用者の皆さん、職員の皆さんとコミュニケーションを深めながら、施設運営をしております。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年末に中国で新型コロナウイルス感染症が発生し、あっという間に全世界に広がり、日本でも猛威を振るい、全く終息の見込みが立っていない状況のため、利用者さんをはじめ、職員の皆さんには、毎日自身の健康管理に注意を払っていただいているところで、施設として、見えない敵に遭遇しても罹らないよう、自衛策としてマスク着用と入念な手洗いの習慣化に努めています。ご家庭でもよろしくお願い致します。

施設運営面では、今年度も利用者さんの支援体制を3班編成にして、主担当、副担当共同でお世話する形をとりました。昨年度の反省点を洗い出して、さらに充実した支援に努めていきたいと思っています。

昨年、荒天時の歩行訓練代替えプログラムを行うことをお約束しましたが、体育施設利用に関し、環境が整わず未実施となってしまいました。今年は実現できるよう努力してまいります。農耕体験については昨年初めて行い、サツマイモ植栽収穫体験を行い、大きな成果を上げることができました。今年も取り組んでまいります。ほかにも一年間の行事や活動をとおして、利用者さんのため充実した支援ができるよう、職員一丸となって頑張っております。

今年は、年度初めから新型コロナウイルス感染症拡大の予防のため、三つの「密」につながる行事や会議の中止や延期など、例年と異なり変則的なことが多くなることを覚悟し、この一年間施設運営に努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



新年度を迎えて

だての郷保護者会 会長 谷 津 絹 子

春光うらかな季節を迎え、桜の花が一斉に咲き始めています。令和も2年目を迎えます。昨年は、子供たちを自然に触れさせるということで、サツマイモ植栽とその収穫体験をさせていただき、子供たちも楽しめたと思います。今年は何が出来るのかと楽しみにしています。

さて、だての郷の日中活動について、一つの班を3人の支援員で受け持つ体制になり、個人に合った支援をしていただいています。しかし、支援員の方と保護者の方とのコミュニケーションは、連絡帳を通してだけなので直接お話しする機会がもっとあればいいと思います。子供も年を重ね、変化してきているので、相談員の方もいてもらえればと思います。また、自宅送迎に関して、3月初めに送迎支援の意向調査をしていただきました。いろいろな事情はあると思いますが、保護者の高齢化等を考慮して、意向を反映し対応していただければと思っております。

2月13日には、福島県福祉施設協会の合同研修会に参加させていただきました。ほどはら授産所の保護者の方がたとふれあう機会がなかったのですが、和気あいあいと楽しい時間を過ごして来ました。このような時間も必要と感じました。だての郷の保護者の方が参加するためには子供たちのことが心配だと思えます。保護者が参加されるときには、子供たちは宿泊訓練をさせていただいたり、研修に親と一緒にいき、子供は支援員の方と過ごし、帰りは親と一緒に帰るとか対応を考えていただければ、保護者も安心して参加できるものと考えます。

現在は新型コロナウイルスの対応に追われていることと思いますが、今後ウイルスが変化してどのような病気が発生するかわかりません。ハンドサーモカメラやサーモ体温計を購入していただき、クラスター感染を防ぐ対策を考えていただきたいと思えます。

皆さん一人ひとりが先見の目を持ち、情報を先取りして令和のこの困難期を乗り越えて行かなければなりません。だての郷の職員の方がたと保護者の方がたと連携して、安心安全な施設を作り、子供たちのために頑張りましょう。



誕生日を迎えた隆仁さんと沙紀さん

3月生まれの皆さんの



誕生日を祝う!

3月25日に、3月生れの利用者 菅野隆仁さんと三浦沙紀さんの誕生日会を行いました。みんなで♪ハッピーバースデーを歌い、二人を祝って、プリンをいただきました。おめでとうございます。

令和2年度だての郷班活動 抱負・目標発表！

活動支援班担当から、今年度の目標や抱負をお伝えします。よろしくお願いいたします。

今年度も利用者みなさまと保護者みなさまに、安心してだての郷を利用していただけるよう職員一丸となって取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

グループ体制を継続して、表情や仕草などからそれぞれの思いをくみ取り、より利用者の方の気持ちに寄り添った支援を第一にして参ります。

1班の抱負は、明るく元気にそしてケガをしないように活動して、笑い声がたくさん聞ける班にしていきたいと思います。そして、「明日も出勤したいな」と思ってもらえるように、職員が支援していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1班



2班



2班の今年の抱負・目標は、昨年度と同じではありますが、毎日楽しく、元気に活動する事です。

毎日元気に出勤していただいて、さまざまな活動に楽しく取り組んでいただけるように、職員も精一杯頑張ります。今年度もよろしくお願いいたします！

3班



いつも元気いっぱいの3班です。

今年度の目標も「元気よく楽しむ！！」です。日々の活動の中から、利用者みなさんの「それやりたい！」を見つけていきたいと思います。一緒に楽しみながら、笑いの多い毎日にしていくため、担当職員も楽しいこと探しをしていきます。今年度の3班もパワフルに頑張ります。

編集後記 /利用者さんはじめ、法人・施設役職員一同、新たな気持ちで新年度を迎えました。本来ですと、四月春爛漫、今年度事業実施に向け、心弾む時期であります。今年は、新型コロナウイルス感染症のため、社会状況が一変、暗い影を落とし先行き不安な毎日です。▼感染予防は、手洗いうがいの励行からとされています。特に手洗いが大事です。手の汚れを落とすだけで、ウイルスがほぼ除去され、予防効果がアップします。汚い手で不用意に顔を触ると、ウイルスを体に取り込むことになるので、触らないよう気をつけてください。▼3つの密に注意し、基本的なことを心掛け、みんなで感染予防に努めたいと思います。▼だての郷活動支援班から今年度の抱負がありました。利用者さんが楽しく施設で過ごせるよう、グループで支援してまいりますので、保護者の皆様の温かいご理解・ご協力よろしくお願いいたします。(M)